

学年	高校 2 年	教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	6
教科書名		LANDMARK English CommunicationⅡ（啓林館）		副教材名	●LANDMARK English CommunicationⅡ ワークブック（啓林館） ●速読英単語 必修編（Z 会出版） ●ワイドアングル 5 訂版 BOOK3 （美誠社） ●Focus on Listening Standard （エミル出版）		
コース・クラス		選抜理系					

I. 目標

- 1 高校3学年4月に実施予定の基礎学力到達度テストの長文問題で80%を目指す。
- 2 実用英語検定、GTEC、TOEFL など3年1学期までにCEFR A2-B2 レベルの英語力の習得を目指す。
- 3 単語テストや熟語テスト(どちらも大学入学共通テストレベル)を定期的の実施し、「英語コミュニケーションⅠ」までに学習した語に950語の新語を加えた語を学習する。

II. 授業のねらい

1 聞くこと・読むこと

- ① 日常的・社会的な話題について、使用される語句や文などから、必要な情報を聞き取り、話や文章の展開、概要や要点、や話し手・書き手の意図を把握することができるようにする。
- ② 知らない単語や表現が含まれていても、前後の文脈から内容を把握できるようにする。
- ③ 重要構文は完成した和訳ができるようにしつつ、全体の文章は左から右へと読み解き、限られた時間の中で多くの文章を読むことができる速読力の向上を促す。

2 話すこと

- ① 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文など事前の準備することで、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝えることができるようにする。
- ② 教科書の文章表現を自分の言葉にして英語で説明できるようにする。

3 書くこと

教科書に出た重要構文の文法表現を用いた表現を活用し、独自の文章を書けるようにする。

III. 授業の進め方

1 導入

教科書の「Listen & Talk」で各レッスンの話題の導入にリスニングで取り組み、大まかな内容把握と、基礎学力到達度テストに向けた練習として選択問題を解かせる。ただし、選択問題数問に解答することだけを目的とせず、複数回の聞き取りと詳細の確認をすることで、全体的な内容把握ができるように促す。

2 本文

- ① 問題演習を軸に本文を読み解き、重要構文は解説を行う。各文法が文の中でこういった役割を果たしているのか、文の構造を学習させる。
- ② 教科書本文を用いた音読活動を行う。文の区切りなどを正しく理解し読むことができるよう促す。
- ③ 本文の音読活動を通じて音声変化を学び、これによりリスニング力を向上させるとともに、速読の訓練を行うことで150wpm以上の音読力を養い、音声と視覚の両面から英語理解を深めることを目指す。

3 初見長文読解練習

副教材「WIDE ANGLE」を用いて、初見の長文問題に限られた時間で解答する練習をする。また、文法单元ごとの重要表現に様々な問題形式で取り組ませ、理解を深めさせる。

4 単語

「速読英単語 必修編」を利用し、週に1度のテストを目標に学習を進めていくことで、基礎学力到達度テスト、各種模試で対応できるレベルの語彙力を養わせる。

5 リスニング

副教材「Focus on Listening Standard」を用いて英語の音声変化を中心に学習し、リスニング力を強化する。主にディクテーションを用いた訓練を行い、音声変化（連結、弱形、脱落など）の理解を深めることで、自然な英語の聞き取りと発話を目指す。授業では、対話文や説明文を用いた実践的な問題形式を取り入れ、リスニングとライティングの両面から学習を進める。

IV. 学習上の留意点

授業の精読前の予習として、教科書の副教材ワークブックで「New Words」「Idioms」を確認し、本文を読んだ上で「Question（英問英答）」「Grammar（重要構文の和訳）」「Summary（要約文の空所補充）」の問題に取り組むことで、まずは自力で解き、間違えたところで弱点を把握するよう努めること。

V. 定期試験

- 1 1学期中間試験、1学期期末試験、2学期中間試験、2学期期末試験、3学期学年末試験の5回実施。
- 2 各定期試験の範囲は教科書2Lesson分程度とする。また、副教材からも出題する。
- 3 基礎学力到達度テスト、各種模試と同じ形式の問題を数題出題する。
- 4 授業で扱った箇所は、全体の5割程度出題する。
- 5 初見問題(実力問題)を5割程度出題する。

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物、授業への取り組み方などで総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan 【異文化理解・日本文化】 ●Focus on Listening Standard (Training1 前置詞・冠詞の弱化／子音+母音の連結、 Training2 have+過去分詞の弱化)	・定期試験 ・小テスト ・提出物 ・授業態度	Lesson1 スウェーデン出身の漫画家、オーサさんが見つけた日本の不思議についての英文を読み、下記①②の文法事項を含んだ読解法を習得する。 ①SVOC C=分詞 ②SVC C=分詞
	5	Lesson 2 A Message from Emperor Penguins 【動物・環境】 ●WIDE ANGLE (1 基本時制、2 完了形、3 助動詞) ●Focus on Listening Standard (Training3 not の弱化、Training4 be 動詞助動詞等の弱化、 Training5 子音と母音の連結)		Lesson2 南極に生息する皇帝ペンギンからのさまざまなメッセージを含んだ英文を読み、下記③④⑤の文法事項を含んだ読解法を習得する。 ③比較級、最上級 ④未来完了形 ⑤比較を使った構文
	6	Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle 【職業・日本文化】		Lesson3 世界を驚かせた新幹線清掃チーム TESSEI に関する英文を読み、下記⑥⑦の文法事項を含んだ読解法を習得する。 ⑥強調のための倒置 ⑦形式目的語
	7	Lesson 4 Seeds for the Future 【文学・人間愛】 ●WIDE ANGLE (4 受動態、5 不定詞 1、6 不定詞 2) ●Focus on Listening Standard (Training6 人称代名詞の弱化、Training7 音の軟化、 Training8 破裂音などの脱落、 Training9 同じ音、似た音の脱落)		Lesson4 小林宙さんが取り組む、タネを未来に残すための活動の関する英文を読み、下記⑧⑨の文法事項を含んだ読解法を習得する。 ⑧付帯状況 ⑨使役動詞

一学期	9	Lesson 5 Language Change over Time 【言語・歴史】	定期試験 小テスト 提出物 授業態度	Lesson 5 時代とともに変化し続ける言葉の持つ意味と、その歴史についての英文を読み、下記⑩⑪の文法事項を含んだ読解法を習得する。 ⑩感想・意見・理由・などを尋ねる疑問詞で始まる疑問文 ⑪同格の that
	10	Lesson 6 Gaudi and His Messenger 【芸術・生き方】 ● WIDE ANGLE (7 動名詞、8 分詞、9 関係詞 1) ● Focus on Listening Standard (Training10 同じ音、似た音の脱落、Training12 音の同化、Training13 破裂音の脱落)		Lesson 6 建築家ガウディとその意志を受け継ぐ日本人彫刻家についての英文を読み、下記⑫⑬の文法事項を含んだ読解法を習得する。 ⑫受動態の分詞構文 ⑬if を使わない仮定法
	11	Lesson 7 Letters from a Battlefield 【平和・家族愛】 Lesson 8 A Sustainable Society 【歴史・環境】		Lesson 7 硫黄島の戦いと兵士からの手紙に関する英文を読み、下記⑭⑮の文法事項を含んだ読解法を習得する。 ⑭副詞節を導く複合関係代名詞 ⑮完了不定詞
	12	● WIDE ANGLE (10 関係詞 2、11 比較 1、12 比較 2) ● Focus on Listening Standard (Training14 接続詞の弱化、Training15 子音と母音の連結、Training16 同じ音、ひた音の脱落)		Lesson 8 江戸時代のリサイクル社会についての英文を読み、下記⑯⑰の文法事項を含んだ読解法を習得する。 ⑯注意すべき関係代名詞の非制限用法 ⑰独立分詞構文

三 学 期	1	Lesson 9 Biological Adventure: From Global to Global 【環境・生き方】	定期試験 小テスト 提出物 授業態度	Lesson 9 フォトジャーナリスト 山田周生さんの「グロー カル」な活動に関する 英文を読み、下記⑮⑯の 文法事項を含んだ読解法 を習得する。 ⑮完了形の分詞構文 ⑯強調構文 Lesson 10 AI 技術の現状と今後に についての英文を読み、 下記⑰⑱の文法 事項を 含んだ読解法を習得 する。 ⑰過去についての推量 ⑱as if を使った仮定法
	2	Lesson 10 Our Future with AI		
	3	【科学・共生】 ●WIDE ANGLE (13 仮定法 1、14 仮定法 2、15 接続詞) ●Focus on Listening Standard (Training17 前置詞、冠詞の弱化、 Training18 人称代名詞の弱化 Training19 子音+母音の連結／not の弱化 Training20 同じ音、似た音の脱落)		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。